

株式会社大丸松坂屋百貨店との主な合意事項

(1) 事業手法

- ・市有地を購入した事業者と大丸松坂屋が共同開発を行う。

(2) 公募方針

- ・市が公募型プロポーザル方式により事業者を募集する。
- ・提案にあたっては、大丸松坂屋が求める条件について、大丸松坂屋が確認する機会を設ける。
- ・開発条件を踏まえた事業計画と市有地の売却価格の提案を受け、総合的に評価する。
- ・有識者で構成する評価委員による評価を受け、市が事業候補者として決定する。

(3) 主な開発条件

名古屋市	<ul style="list-style-type: none">・活力と魅力にあふれる栄地区のイメージをリードするシンボル性の高い景観を形成するデザイン・事業者の主な導入機能は滞在・文化・学び・アミューズメントなど（ただし、住宅は不可）・交流促進に資する広場空間（200 m²以上）の確保・地下鉄施設及び地下街施設と接続し、スロープ、E Vの設置等によるバリアフリー動線の確保・久屋大通公園に面した店舗配置など公園と一体的なにぎわい空間の形成・環境、防災等に配慮した計画
大丸松坂屋	<ul style="list-style-type: none">・JFR グループの既存施設との相乗効果により、栄地区全体としての集客力・にぎわいに寄与する開発・地下階を含め低層部で高級感のある商業専門店事業を展開・地下階から上層階に向けて、必要とする商業専有面積は約 17,000 m²・1階の必要とする商業面積は専有面積約 2,700 m²、レンタル面積は専有面積に対して約 70%・1階の店舗配置として、広小路通、大津通及び久屋大通沿いについては、基本的に商業店舗及び商業店舗ファサードに利用・商業施設と地下鉄施設及び地下街施設との接続・所有形態はいわゆる「横割り」の区分所有（建物は区分所有、敷地は分有）

(4) スケジュール

年度	事項
2019年度	募集要項の公表 事業候補者の決定・公表
2020年度	基本協定の締結 土地売買契約の締結
2022年度	土地引渡し
2024年度	供用開始